

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	TOEIC II				
担当教員	ティックナー マーク	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEICの得点アップすることでグローバルビジネスに役立つ英語力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 650				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Tactics for the TOEIC test Listening and Reading Test Introductory Course				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	写真描写問題の名詞と動詞、語彙	P9~11、写真描写問題の練習			
2	写真描写問題の名詞と動詞、語彙	P12~13、写真描写問題の練習			
3	写真描写問題の自然な発音	P14~16、写真描写問題の練習、リスニング			
4	写真描写問題の自然な発音	P17~19、写真描写問題の練習、リスニング			
5	TOEICテストの攻略法	P20~22、リスニング			
6	TOEICテストの攻略法、時間設定を行い、言葉を探す	P23~26、リスニング			
7	TOEICテストの攻略法、問題と解答の時間管理	P27~30、リスニング			
6	TOEICテストの攻略法、時間管理	P39~41、リーディング、不完全の文章			
9	TOEICテストの攻略法、時間と句の練習	P42~45、リーディング、不完全の文章			
10	TOEICテストの攻略法	P46~49、リーディング、正しい品詞の識別			
11	TOEICテストの攻略法	P50~55、リーディング、接尾辞と文法			
12	TOEICテストの攻略法、問題の解き方	P56~57、リーディング、特定情報の返答			
13	TOEICテストの攻略法、問題の解き方	P58~59、リーディング、特定情報の返答			
14	TOEICテストの攻略法、明確でない解答	P73~75、リスニング、問題と返答の練習			
15	TOEICテストの攻略法、意味と文脈	P76~79、リスニング、Yes/No問題			
16	TOEICテストの攻略法、40秒ルールと時間管理	P80~81、リスニング、自然な発音の理解			
17	TOEICテストの攻略法、40秒ルールと時間管理	P82~83、リスニング、自然な発音の理解			
18	前期復習	写真描写問題			
19	前期復習	写真描写問題、リスニング			
20	前期復習	リーディング			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		TOEICに関する対策や知識を伸ばすために積極的に学ぶこと。			
実務経験教員の経歴	高校や英会話教室で20年以上教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	TOEIC II				
担当教員	ティックナー マーク	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEICの得点アップすることでグローバルビジネスに役立つ英語力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 650				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Tactics for the TOEIC test Listening and Reading Test Introductory Course				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	間違った情報と無視するマイナーな詳細	P66~69、写真描写問題、現在形、場所の前置詞			
2	間違った情報と無視するマイナーな詳細	P70~72、写真描写問題、現在形、場所の前置詞			
3	TOEICテストの攻略法、読解の速さの改良	P31~34、リスニング			
4	TOEICテストの攻略法	P35~38、リスニング、抑揚			
5	TOEICテストの攻略法、文脈のスキミングと時間管理	P56~65、リーディング、語彙			
6	TOEICテストの攻略法、40秒ルールの練習	P80~82、リスニング、意志表明			
7	TOEICテストの攻略法、When/Why/Howの問題	P87~89、特定詳細のためのリスニング			
8	TOEICテストの攻略法、40秒ルールの練習	P90~93、When/Why/Howの言語構築			
9	TOEICテストの攻略法、知らない言葉の推測	P94~96、リーディング、不完全な文章			
10	TOEICテストの攻略法、知らない言葉の推測	P97~101、リーディング、不完全な文章			
11	TOEICテストの攻略法、問題に対して30秒	P102~105、リーディング、言葉の連系			
12	TOEICテストの攻略法、欠落言葉の文章の焦点	P106~111、リーディング、連結語を持つ形と代名詞の使用			
13	TOEICテストの攻略法、情報連結	P112~115、リーディング、情報連結の解答			
14	TOEICテストの攻略法、練習問題	P116~121、リーディング、情報連結の練習			
15	復習	写真描写問題			
16	復習	リスニング			
17	復習	リーディング			
18	総復習	テスト準備			
19	総復習	テスト準備			
20	まとめ	総まとめ			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		TOEICに関する対策や知識を伸ばすために積極的に学ぶこと。			
実務経験教員の経歴	高校や英会話教室で20年以上教鞭を取る				

科目名	リスニング&スピーキングII				
担当教員	ティックナー マーク	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEICアップに必要なリスニング&スピーキング力を身につけ、英会話のコミュニケーション能力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 650				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Interchange 4th edition Level 3				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	people discuss the type of partner they like /discuss three adjectives to describe yourself / 関係代名詞	リスニング、スピーキング、会話 P2~3			
2	people discuss the type of partner they like /discuss three adjectives to describe yourself / 関係代名詞	リスニング、スピーキング、会話 P4~5			
3	people discuss likes and dislikes in people / interview classmates to find out about their personality / 副詞節	リスニング、スピーキング、人々の描写 P6			
4	people discuss their jobs / career debate. What job would you like to do? / 形容詞・比較	リスニング、スピーキング、仕事 P8~10			
5	discussing jobs / compare various jobs to each other / 接尾辞・比較	リスニング、スピーキング、3つの形容詞で自身を描写 P11~12			
6	People's biggest complaints / roleplay a job interview / 比較	リスニング、スピーキング P14~15			
7	Would you mind conversation	リスニング、スピーキング、ifの使い方 P16~17			
8	make a request using modals	リスニング、スピーキング、様式を使って話す P18			
9	Unstressed consonants /d/k/g/b/ Discussing favours and passing on messages / 自然な語の使い方	リスニング、スピーキング、間接 P19~20			
10	TV stories with a surprise ending / intonation in complex sentences / 過去形・過去進行形	リスニング、スピーキング、過去形と過去進行形を使って会話、P22~23			
11	a news broadcast / discuss if the news broadcasts had a happy ending / 過去完了形	リスニング、スピーキング、過去完了形 P24~26			
12	what comes first / from A to B / 過去完了形	リスニング、スピーキング P28~29			
13	moving to a foreign country / word stress in sentences and discussing culture shock / 相対句を含む名詞	リスニング、スピーキング、海外へ行くとき P30~32			
14	different customs around the world / Expections	リスニング、スピーキング P33~34			
15	different customs around the world / Expections	リスニング、スピーキング P35~36			
16	customers return items to a store / return an item to a store / 形容詞としての過去分詞	リスニング、スピーキング、教室内の問題 P37~39			
17	people discussing repair jobs / Contrastive stress / 現在進行形・現在完了形の受動態	リスニング、スピーキング P40~43			
18	復習	前期復習 P2~23			
19	復習	前期復習 P24~46			
20	まとめ	前期まとめ			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		応用しながら、さらリスニング力とスピーキング力を高めるために積極的に学ぶこと。リスニングで聞き取れるようになること。積極的に会話すること。			
実務経験教員の経歴	高校や英会話教室で20年以上教鞭を取る				

科目名	リスニング&スピーキングII				
担当教員	ティックナー マーク	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEICアップに必要なリスニング&スピーキング力を身につけ、英会話のコミュニケーション能力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 650				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Interchange 4th edition Level 3				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	problems in a city / Which of the problems in the listening affect your city / 現在進行形・現在完了形の受動態	リスニング、スピーキング、自国の環境問題 P44~46			
2	problems and solutions / Describe and discuss the photos	リスニング、スピーキング P47~48			
3	college life and study / asking questions and intonation practice / would rather and would preferの使い方	リスニング、スピーキング、英語を学ぶこと P50~52			
4	ways to learn different things / how the students developed their own skills / 動名詞	リスニング、スピーキング P53~54			
5	conversations on recent events and activities / students discuss how they improve their English	リスニング、スピーキング、英語力の改善 P56~57			
6	advertisements on a local radio / Discuss services you use / 副詞	リスニング、スピーキング、文章の強音 P58~59			
7	a conversation about dating / discuss services in Japan how do they differ from other countries / 動詞・動名詞	リスニング、スピーキング、日本のサービス P60~62			
8	General knowledge / discussing fads / 過去の時間と期間	リスニング、スピーキング、音節の強音 P64~65			
9	general knowledge quiz about history / discussing how historical events. Changed the future / 未来予測	リスニング、スピーキング、未来の出来事 P66~68			
10	a conversation about history / discuss problems and give advice	リスニング、スピーキング、過去の描写 P70~72			
11	listen to a conversation discussing the past / Discuss your life using clauses / 時間節	リスニング、スピーキング、行動と性格 P73~74			
12	listen to a conversation discussing the past / Discuss your life using clauses / 時間節	リスニング、スピーキング、行動と性格 P75~76			
13	shopping mall surveys / reduced words / 不定詞節	リスニング、スピーキング、将来の目的 P78~80			
14	Business commercial / catchy slogans / 理由	リスニング、スピーキング P81~85			
15	People discussing their pet peeves / reduction of past modals / 確実な過去	リスニング、スピーキング P86~90			
16	Why people love their jobs / describe your favorite movies / 過去分詞	リスニング、スピーキング、複合名詞 P92~93			
17	Why people love their jobs / describe your favorite movies / 過去分詞	リスニング、スピーキング、複合名詞 P94~95			
18	復習	後期復習 P47~68			
19	復習	後期復習 P70~95			
20	まとめ	総まとめ			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15%		応用しながら、さらリスニング力とスピーキング力を高めるために積極的に学ぶこと。リスニングで聞き取れるようになること。積極的に会話すること。			
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	高校や英会話教室で20年以上教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	リーディングII				
担当教員	ティックナー マーク	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEIC得点アップに必要なリーディング力、ライティング力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 650				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Interchange 4th edition Level 3 Writing for the Real World Level 2				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	自己紹介 紹介メールを書く、メール交換する	P6-7			
2	自己紹介 紹介メールを書く、メール交換する	P8-9			
3	会議開催提案書を書く 確定または変更を文で伝える	P10-11			
4	会議開催提案書を書く 確定または変更を文で伝える	P12-13			
5	旅行/出張計画について書く 旅程について書く	P14-15			
6	旅行/出張計画について書く 旅程について書く	P16-17			
7	勧めに対しての返事	P22-25			
8	招待する	P26-29			
9	招待に返答する	P30-33			
10	復習1 招待に返答する	P34-37			
11	会社説明書を書く	P38-39			
12	会社説明書を書く	P40-41			
13	カタログ、値段、割引情報を要求する	P42-45			
14	カバーレターを書く	P46-47			
15	メールで注文確定する	P48-49			
16	注文表を記入する	P50-51			
17	注文書を書く	P52-53			
18	遅延についての理由書を書く	P54-57			
19	支払い完了のお知らせをするためのメール 支払いを確認する	P58-61			
20	支払期日についての通知を書く	P62-65			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15%		さらなる読解力を高めるために積極的に学ぶこと。短文・長文の素早い理解、解答をできるようになること。			
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	高校や英会話教室で20年以上教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	リーディングII				
担当教員	ティックナー マーク	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEIC得点アップに必要なリーディング力、ライティング力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 650				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Interchange 4th edition Level 3 Writing for the Real World Level 2				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	苦情文に返事する	P66-69			
2	復習2 苦情文に返事する	P70-73			
3	プロジェクトの進捗を確認する	P74-77			
4	進捗確認の問い合わせに返事する	P78-81			
5	従業員へメモを書く	P82-85			
6	会社へ提案資料を提出する	P86-87			
7	会社へ提案資料を提出する	P88-89			
8	提案資料についての返事をする	P90-93			
9	出張についてのレポートを書く	P94-95			
10	出張についてのレポートを書く	P96-97			
11	お祝いの手紙を書く	P98-99			
12	同情の手紙を書く	P100-101			
13	感謝の手紙を書く	P102-105			
14	復習3 ペアワーク 書き取り	P106-109			
15	招待状を書く	P110-113			
16	ビジネスレターを書く	P114-117			
17	感謝の手紙を書く	P118-121			
18	P123のBeginingとEndingを参照にビジネスレターを書く	P122-125			
19	総復習	テスト準備			
20	総復習	テスト準備			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		さらなる読解力を高めるために積極的に学ぶこと。短文・長文の素早い理解、解答をできるようになること。			
実務経験教員の経歴	高校や英会話教室で20年以上教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	Grammar II				
担当教員	ティックナー マーク	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEICの得点アップすることでグローバルビジネスに役立つ英語力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 650				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Grammar in Use Intermediate				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	原形/現在進行形 I do/ I am doing	U1, U2, U3 P2-7			
2	原形/現在進行形 過去形/過去進行形 I did/ I was doing	U4, U5, U6 P8-13			
3	現在完了形/過去完了形 I have done/ I did	U7, U8, U9 P14-19			
4	現在完了進行形 I have been doing 現在完了形 I have done	U10, U11, U12 P20-25			
5	過去完了形 I had done 過去完了進行形 I had been doing 時間を表す前置詞 / 時間についてWHQ	U13, U14, U15 P26-31			
6	未来へ繋がる意味をもつ現在進行形	U16, U17, U18 P32-37			
6	復習1	U1-U18 P2-37			
7	時間を表す前置詞 going to / will	U19, U20, U21 P38-43			
8	時間を表す前置詞 going to / will 未来進行形 I will be doing 未来完了形 I will have done	U22, U23, U24 P44-49			
7	復習2	U19-U24 P38-49			
9	法助動詞 must/had to can/could will/would shall/should	U25, U26, U27 P50-55			
10	法助動詞 may/ might have to/ must	U28, U29, U30 P56-61			
11	Should 主語として (I suggest you do) had better, it is time	U31, U32, U33 P62-67			
12	法助動詞 Would could/would you...? 起こりうること If I do/If I did..	U34, U35, U36 P68-73			
10	復習3	U25-U36 P50-73			
13	仮定法 if/wish If I... I wish I...	U37, U38, U39 P74-79			
14	受動態 is done / was done/ been done / being done	U40, U41, U42 P80-85			
14	受動態 is done / was done/ been done / being done	U40, U41, U42 P80-85			
15	直接話法 he said that .. He is supposed to...	U43, U44, U45 P86-91			
15	復習4	U37-U45 P74-91			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		文法的应用を積極的に学び、TOEICに活かすこと。			
実務経験教員の経歴	高校や英会話教室で20年以上教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	Grammar II				
担当教員	ティクナー マーク	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEICの得点アップすることでグローバルビジネスに役立つ英語力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 650				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Grammar in Use Intermediate				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	間接話法 He said that ... He asked me where...	U46, U47, U48 P92-97			
2	助動詞 I this so/ I hope so do you?/Is it?	U49, U50, U51 P98-103			
3	動詞+to...動詞+形容詞+to ... 動詞+ING/to...	U52, U53, U54 P104-109			
4	動詞+ING/To... try/need/help/like/would like	U55, U56, U57 P110-115			
5	前置詞 動詞+前置詞+ING	U58, U59, U60 P116-121			
6	復習1	U46-U60 P92-121			
7	形容詞+to... To.. For..so that...	U61, U62, U63 P122-127			
8	To... (afraid to do...) See somebody do/ see somebody doing -ingの文(feeling tired...)	U64, U65, U66 p128-133			
9	復習2	U61-U66 P122-133			
10	可算名詞、不可算名詞	U67, U68, U69 P134-139			
11	a/an と the (the school, School...)	U70, U71, U72 P140-145			
12	Theが付く名詞と付かない名詞	U73, U74, U75 P146-151			
13	Theが付く名詞と付かない名詞 単数と複数 主語+主語(a tennis ball...)	U76, U77, U78 P152-157			
14	復習3	U67-U78 P134-157			
15	物の量の表し方 some / any など...	U82, U83, U84 P164-169			
16	量の表し方。 Both, either, neither, a lot, much, many	U85, U86, U87 P170-175			
17	復習4	U82-U87 P164-175			
18	all/every/whole ... 接続冠詞 (who/that/which)	U88, U89, U90 P176-181			
19	all/every/whole ... 接続冠詞 (who/that/which)	U88, U89, U90 P176-181			
20	まとめ	総まとめ			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		文法の実用を積極的に学び、TOEICに活かすこと。			
実務経験教員の経歴	高校や英会話教室で20年以上教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	ボキャブラリーII				
担当教員	ティックナー マーク	実務授業の有無	○		
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEIC得点アップに必要な単語力・フレーズ力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 650				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P68-70 会う			
2	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P71-73 謝る			
3	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P74-76 クライアント / ログオン			
4	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P77-79 リード セッション / 置換			
5	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P80-82 市場 / 小売店			
6	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P83-85 協定 / 人の方法			
7	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P86-90 実験 / 繊細 / ストレージ			
8	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P91-96 クルー / 結合 / 進む ハンドアウト			
9	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P97-103 注意を払う/への代わりに/運賃			
10	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P104-110 ハイライト/入手可能/最近			
11	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P111-116 チャリティー/起こる/研究所(学院)			
12	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P117-120 公共/ 配置/			
13	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P121-125 カテリング			
14	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P126-128 ～を利用して			
15	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P129-131 ～を不思議に思う/特別な			
16	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P132-135 説明する/ 意見/ 住宅(在住)			
17	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P136-138 近づく(今度の)/ディレクター/気づく			
18	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P139-141 ～を光栄に思う/受け取る/実際は			
19	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P142-144 ～を参考に/現れる/編集者の/伝説的な/ 会員			
20	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。	P145-147 Enroll/ 割り当てる/状況/支払い/時期/職員			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15%		TOEIC頻出単語力とフレーズ力を身につけるために積極的に学ぶこと。			
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	高校や英会話教室で20年以上教鞭を取る				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	ボキャブラリーII				
担当教員	ティックナー マーク		実務授業の有無	○	
対象学科	国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、授業の進め方	TOEIC得点アップに必要な単語力・フレーズ力を高める				
学習目標 (到達目標)	TOEIC 650				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TOEICテスト公式問題で学ぶボキャブラリー				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。		P150-161 電話/メッセージ/リスニング①		
2	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。		P150-161 電話/メッセージ/リスニング②		
3	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。		P150-161 電話/メッセージ/リスニング③		
4	復習1		P150-161		
5	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。		P162-177 発表/報告/リスニング①		
6	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。		P162-177 発表/報告/リスニング②		
7	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。		P162-177 発表/報告/リスニング③		
8	復習2		P162-177		
9	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。		P178-189 ニュース/ラジオ/リスニング①		
10	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。		P178-189 ニュース/ラジオ/リスニング②		
11	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。		P178-189 ニュース/ラジオ/リスニング③		
12	復習3		P178-189		
13	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。		P190-229 話す/リスニング		
14	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。		P190-229 話す/リスニング		
15	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。		P190-229 話す/リスニング		
16	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。		P190-229 話す/リスニング		
17	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。		P190-229 話す/リスニング		
18	単語の紹介、文の音読。新しい単語を利用した会話練習。		P190-229 話す/リスニング		
19	復習4		P190-229		
20	まとめ		総まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、課題10%、授業態度15%、学習意欲15%			TOEIC頻出単語力とフレーズ力を身につけるために積極的に学ぶこと。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	高校や英会話教室で20年以上教鞭を取る				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(A科目)				
担当教員	服部 円		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科、 国際ファッションビジネス科、 ファッションビジネス科、 スタイリスト科(スタイリストプレスコース)	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡA科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級A科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ファッション販売知識①		教科書 p8~p9 過去問題演習		
2	ファッション販売知識②		教科書 p10~p12 過去問題演習		
3	ファッション販売知識③		教科書 p13~p14 過去問題演習		
4	ファッション販売知識④		教科書 p15~p19 過去問題演習		
5	ファッション販売技術①		教科書 p20~p24 過去問題演習		
6	ファッション販売技術②		教科書 p25~p30 過去問題演習		
7	ファッション販売技術③		教科書 p31~p35 過去問題演習		
8	ファッション販売技術④、⑤		教科書 p36~p47 過去問題演習		
9	ファッション販売技術⑥		教科書 p48~p51 過去問題演習		
10	ファッション販売技術⑦、⑧		教科書 p52~p61 過去問題演習		
11	マーケティング①		教科書 p152~p155 過去問題演習		
12	マーケティング②		教科書 p156~p160 過去問題演習		
13	マーケティング②		教科書 p161~p166 過去問題演習		
14	マーケティング③		教科書 p167~p173 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	前期試験		前期試験		
20	前期試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	外資系ショップで4年間FAを経験、接客及び店舗運営に携わる				

科目名		ファッション販売能力検定対策Ⅱ(A科目)			
担当教員		服部 円		実務授業の有無	○
対象学科	ファッションプロデュース科、 国際ファッションビジネス科、 ファッションビジネス科、 スタイリスト科(スタイリストプレスコース)	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡA科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、接客マナー、消費者行動等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級A科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	A科目過去問題①		第42回 過去問題A科目試験形式及び解答		
2	A科目過去問題①		第42回 過去問題A科目 解説・振り返り		
3	A科目過去問題②		第41回 過去問題A科目試験形式及び解答		
4	A科目過去問題②		第41回 過去問題A科目 解説・振り返り		
5	A科目過去問題③		第40回 過去問題A科目試験形式及び解答		
6	A科目過去問題③		第40回 過去問題A科目 解説・振り返り		
7	A科目過去問題④		第39回 過去問題A科目試験形式及び解答		
8	A科目過去問題④		第39回 過去問題A科目 解説・振り返り		
9	A科目過去問題⑤		第38回 過去問題A科目試験形式及び解答		
10	A科目過去問題⑤		第38回 過去問題A科目 解説・振り返り		
11	A科目過去問題⑥		第37回 過去問題A科目試験形式及び解答		
12	A科目過去問題⑥		第37回 過去問題A科目 解説・振り返り		
13	検定対策		対策ワード解説		
14	検定本番問題の解答・解説①		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
15	検定本番問題の解答・解説②		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
16	試験対策		模擬問題		
17	試験対策		模擬問題解答・解説		
18	後期試験		後期試験		
19	後期試験解答・解説		解答・解説		
20	一年間のまとめ、振り返り		一年間のまとめ、振り返り		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴		外資系ショップで4年間FAを経験、接客及び店舗運営に携わる			

ファッション販売能力検定対策Ⅱ(B科目)					
科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(B科目)				
担当教員	服部 円		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科、 国際ファッションビジネス科、 ファッションビジネス科、 スタイリスト科(スタイリストプレスコース)	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡB科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、商品素材知識、ビジュアルマーチャンダイジング等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級B科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	商品知識①		教科書 p61～p93 過去問題演習		
2	商品知識②		教科書 p94～p107 過去問題演習		
3	商品知識③		教科書 p108～p111 過去問題演習		
4	商品知識④		教科書 p112～p117 過去問題演習		
5	売り場づくり①		教科書 p118～p121 過去問題演習		
6	売り場づくり②		教科書 p122～p127 過去問題演習		
7	売り場づくり③		教科書 p128～p137 過去問題演習		
8	売り場づくり④、⑤、⑥		教科書 p138～p143 過去問題演習		
9	売り場づくり⑦、⑧、⑨		教科書 p144～p147 過去問題演習		
10	売り場づくり⑦、⑧、⑨		教科書 p148～p151 過去問題演習		
11	店舗運営管理①		教科書 p174～p182 過去問題演習		
12	店舗運営管理②		教科書 p183～p186 過去問題演習		
13	店舗運営管理③		教科書 p187～p189 過去問題演習		
14	店舗運営管理④		教科書 p190～p193 過去問題演習		
15	試験対策		模擬テスト		
16	試験対策		模擬問題解答・解説		
17	試験対策		模擬テスト		
18	試験対策		模擬問題解答・解説		
19	前期試験		前期試験		
20	前期試験解答・解説		解答・解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	外資系ショップで4年間FAを経験、接客及び店舗運営に携わる				

科目名	ファッション販売能力検定対策Ⅱ(B科目)				
担当教員	服部 円		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションプロデュース科、 国際ファッションビジネス科、 ファッションビジネス科、 スタイリスト科(スタイリストプレスコース)	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	40時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ファッション販売能力検定ⅡB科目の知識を習得 2.ファッションビジネス、ファッションマーケティング、ファッション産業、 ファッショントレンド、商品素材知識、ビジュアルマーチャンダイジング等の理解 3.テキスト、過去問題での復習				
学習目標 (到達目標)	ファッション販売能力検定2級B科目の合格レベルの習得				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ファッション販売2/ファッション販売能力検定試験問題集2級				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	B科目過去問題①		第42回 過去問題B科目試験形式及び解答		
2	B科目過去問題①		第42回 過去問題B科目 解説・振り返り		
3	B科目過去問題②		第41回 過去問題B科目試験形式及び解答		
4	B科目過去問題②		第41回 過去問題B科目 解説・振り返り		
5	B科目過去問題③		第40回 過去問題B科目試験形式及び解答		
6	B科目過去問題③		第40回 過去問題B科目 解説・振り返り		
7	B科目過去問題④		第39回 過去問題B科目試験形式及び解答		
8	B科目過去問題④		第39回 過去問題B科目 解説・振り返り		
9	B科目過去問題⑤		第38回 過去問題B科目試験形式及び解答		
10	B科目過去問題⑤		第38回 過去問題B科目 解説・振り返り		
11	A科目過去問題⑥		第37回 過去問題B科目試験形式及び解答		
12	A科目過去問題⑥		第37回 過去問題B科目 解説・振り返り		
13	検定対策		対策ワード解説		
14	検定本番問題の解答・解説①		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
15	検定本番問題の解答・解説②		検定本番問題の解答・解説・振り返り		
16	試験対策		模擬問題		
17	試験対策		模擬問題解答・解説		
18	後期試験		後期試験		
19	後期試験解答・解説		解答・解説		
20	一年間のまとめ、振り返り		一年間のまとめ、振り返り		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			教科書は毎時間準備すること 授業内での配布物は全て保管すること		
実務経験教員の経歴	外資系ショップで4年間FAを経験、接客及び店舗運営に携わる				

科目名		コーディネート II			
担当教員	清野 祐子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションプロデュース科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1年生で学んだ基礎的なコーディネートテクニックを深め、応用する。 広報の要素を絡めたトータルプランニングができるようになる。				
学習目標 (到達目標)	就職を意識したブランド毎に合うコーディネート。パーソナルカラーを用いお互いを分析し似合うコーディネート提案。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	プランニング ワークシート作成	メンズ、レディース、キッズ各1LOOKを選びコーディネート を論理的に分析する。			
2	異素材ミックスコーディネート プランニング、ワークシート作成	異なった素材をミックスしたコーディネートについての講義 とプランニング、ワークシート作成。			
3	異素材ミックスコーディネート 撮影、ワークシート完成。	異素材ミックスコーディネートのスタイリングを考案、撮 影。			
4	テイストミックスコーディネート 講義	2種類のテイストをミックスしたコーディネートについて講 義。			
5	テイストミックスコーディネートプランニング ワークシート作成	2種類のテイストをミックスしたコーディネートのプラン ニングとワークシートを作成。			
6	テイストミックスコーディネート撮影	2種類のテイストをミックスしたコーディネートを撮影。 ワークシートを完成させる。			
7	配色テクニック講義 コーディネート企画	配色テクニックに関して講義で学び、コーディネートを考え る。			
8	配色テクニック撮影 ワークシート作成	コーディネートの撮影とワークシート作成。			
9	配色テクニック 企画プレゼン	ワークシートをもとにプレゼン。			
10	5W2Hオケージョンコーディネートプランニング	5W2Hを具体的に設定したコーディネートについてプラン ニング。			
11	5W2Hオケージョンコーディネート ワークシート作成、撮影、プ レゼン	5W2Hを具体的に設定したコーディネートについてワーク シート作成、撮影、プレゼン実施。			
12	LOOKBOOK 講義	LOOKBOOKについて講義			
13	LOOKBOOK 企画	オリジナルLOOKBOOK企画策定。			
14	LOOKBOOK レイアウト	LOOKBOOKのレイアウトについてプリント配布、講義。			
15	LOOKBOOKレイアウト 卒業生作品紹介	卒業生の作成したLOOKBOOKの紹介			
16	LOOKBOOKレイアウト 見やすいレイアウトについて	見やすいレイアウトとは？について講義。レイアウト作成 開始。			
17	LOOKBOOKレイアウト作成	企画したLOOKBOOKのレイアウト作成。			
18	LOOKBOOK作成	LOOKBOOKの作成とプレゼン。			
19	LOOKBOOK作成	LOOKBOOKの作成とプレゼン。			
20	LOOKBOOK作成	LOOKBOOKの作成とプレゼン。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲＝80：20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減(±5点)あり 成績評価基準 A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0)		A4ファイル、ノート(ルーズリーフでも可)用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。			
実務経験教員の経歴	外資系ハイブランドの販売、店舗マネージメント、新人研修、ロールプレイング指導などを約12年行う。				

科目名	コーディネートII				
担当教員	清野 祐子	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションプロデュース科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1年生で学んだ基礎的なコーディネートテクニックを深め、応用する。 広報の要素を絡めたトータルプランニングができるようになる。				
学習目標 (到達目標)	就職を意識したブランド毎に合うコーディネート。パーソナルカラーを用いお互いを分析し似合うコーディネート提案。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	LOOKBOOK作成	企画したLOOKBOOKのレイアウト作成。			
2	LOOKBOOK作成	企画したLOOKBOOKのレイアウト作成。			
3	LOOKBOOK完成	企画したLOOKBOOKの仕上げ。			
4	LOOKBOOK プレゼン	LOOKBOOKのプレゼン。			
5	2体以上のコーディネート講義	2体以上のコーディネートについて講義。			
6	2体以上のコーディネート プランニング	2体以上のコーディネートについてプランニング			
7	2体以上のコーディネート 撮影	2体以上のコーディネートについて撮影			
8	2体以上のコーディネート ワークシート作成	2体以上のコーディネートについてワークシート作成			
9	撮影予備日 1WEEK着回しプランニング	1WEEK着回しについて講義、企画。			
10	1WEEK着回し 撮影	1WEEK着回しについて撮影。			
11	1WEEK着回し 作成	1WEEK着回しについてワークシート作成。			
12	特集テーマ 企画作成	オリジナル特集テーマの企画考案。			
13	特集テーマ 作成	オリジナル特集テーマのワークシート作成。			
14	特集テーマ 撮影	オリジナル特集テーマのコーディネート撮影。			
15	特集テーマ プレゼン	オリジナル特集テーマのプレゼン。			
16	1年間のまとめ テーマを決めてコーディネート企画作成1	テーマ、コンセプト策定後、企画をPCにて立案。			
17	1年間のまとめ テーマを決めてコーディネート企画作成2	テーマを決めて2年間で学んだことを活かして企画ワークシート配布し企画作成。			
18	1年間のまとめ 企画、プレゼン	テイスト、ターゲット、トレンドを加味した企画作成。 プレゼンで採用企画決定。			
19	1年間のまとめ コーディネート作成	採用企画のコーディネート作成。			
20	まとめ 振り返り	1年間のまとめプリント配布。振り返り実施。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲=80:20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減(±5点)あり 成績評価基準 A(100~80) B(79~70) C(69~60) D(59~0)		A4ファイル、ノート(ルーズリーフでも可)用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。			
実務経験教員の経歴	外資系ハイブランドの販売、店舗マネジメント、新人研修、ロールプレイング指導などを約12年行う。				

国際トータルファッション専門学校 シラバス

科目名	VMD II				
担当教員	金川 愁		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	80時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1年次に学習した基礎知識をもとにテーマ別訴求、イベント別訴求等を企画から作成し、1F SHOP、3F ディスプレイルームを作成。商品の魅力を演出できるように実践をメインに取り組む。 またセリングポイントを訴求した効果的なディスプレイを作成し、店舗運営と並行して授業を行う。				
学習目標 (到達目標)	各アイテムに適した陳列方法をマネキン、トルソーを使用して1FのSHOPを使い魅力的に見せる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入、1年次振り返り		授業ルールについて、科目のゴール説明。 振り返りシート配布、記入。		
2	ロスバイイングディスプレイ企画		ロスバイイングディスプレイ企画書作成（パワーポイント作成）		
3	バイイングディスプレイ企画書作成 プレゼン		ディスプレイ企画1つに絞りリスト作成。買い出し班と準備班に分かれて行動。		
4	必要なものリスト作成。買い出しと準備。		ディスプレイ企画2つに絞りリスト作成。買い出し班と準備班に分かれて行動。		
5	ディスプレイルームへ作成		ディスプレイルームにて作成。		
6	SKU,FKU講義、主役と脇役		SKU,FKUについてのプリント配布。 VMDにおける主役と脇役についての講義。		
7	アイテムケア（シューズ、革物）		各自でアイテムを用意してもらい、ケア実施。		
8	ファッションショーに向けたテーマ決め、マップ作成		テーマ決め、マップ作成		
9	ファッションショーテーマ プレゼン、内容策定		テーマのプレゼン、内容策定。		
10	ファッションショー展示		ディスプレイルームに展示		
11	ネクタイ結び方の復習、テクニック講義 実践		結び方復習、テクニック講義、実践		
12	万代リサーチ		万代ヘリサーチ実施		
13	リサーチレポート作成		レポート提出（売場図、ポイント記載）		
14	FWに向けた1F SHOP VMD変更		1F SHOPのVMD変更を全員で実施。		
15	ネクタイ結び方の復習、テクニック講義 実践		結び方復習、テクニック講義、実践		
16	ネクタイ結び方の復習、テクニック講義 実践		結び方テクニック、実践		
17	古町リサーチ		リサーチ実施、売り場、オススメアイテムのリサーチ。		
18	リサーチレポート作成		リサーチレポート提出。（売場図、ポイント記載）		
19	まとめ、SHOP内容引継ぎ		VMD II まとめワークシート配布。SHOP内容を1年生に引継ぎ。		
20	まとめ、SHOP内容引継ぎ		SHOP内容を1年生に引継ぎ。重点ポイントなど。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題提出100% 点数基準 課題：授業意欲＝80：20 企画書、ワークシート、プレゼンの内容で点数の増減（±5点）あり 成績評価基準 A(100～80) B(79～70) C(69～60) D(59～0)			A4ファイル、ノート（ルーズリーフでも可）用意。 PCでのワークシート作業があるためDropboxを使用する。		
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

科目名	VMD II				
担当教員	金川 愁	実務授業の有無	○		
対象学科	ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	80時間
授業概要、目的、 授業の進め方	<p>プランニングからディスプレイ企画、アイテム選別まで各個人で実施。 2年間で学んだコーディネート、VMD、店舗運営などの知識を活かし、心に、視覚に訴える課題を制作。 卒業課題となり最終ショー形式にて発表。</p>				
学習目標 (到達目標)	企画書の作成、プレゼン実施、VMD企画、演出のすべてを実践し理解をする。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	課題趣旨説明	制作の内容、趣旨説明			
2	企画書立案	企画書立案（コーディネートイメージ5体、VMD企画、演出企画）パワーポイントにてスライド10枚以上。			
3	企画書作成1	企画書作成 コーディネートイメージ5体、VMD企画立て			
4	企画書作成2	企画書作成 演出、音楽の企画立案			
5	企画書中間チェック	企画書の中間チェック実施。			
6	企画書プレゼン	企画書プレゼン（1人ずつ企画の意図、演出なども全て伝える）			
7	企画採用者決定	採用企画の制作へ移る。各担当や演出などすべて採用企画者に仕切らせ制作開始。			
8	採用企画のコーディネート策定1	コーディネート案作成 PCにて画像収集			
9	採用企画のコーディネート策定2	コーディネート案作成 PCにて画像収集			
10	採用企画のコーディネート策定3	コーディネート案完成 モデル案策定			
11	必要なアイテム候補出し	足りないアイテムの候補出し			
12	必要なアイテムなど買い出し	足りないアイテムの候補出し、買い出し実施			
13	コーディネートチェック	コーディネートチェック実施			
14	フィッティング実施	フィッティング実施			
15	演出関連作成	演出関連（音楽、映像など）作成			
16	演出関連リハ	演出関連リハール実施。			
17	リハール、改善ミーティング1	リハール実施。改善事項などのミーティング実施。			
18	リハール、改善ミーティング2	リハール実施。改善事項などのミーティング実施。			
19	リハール、改善ミーティング3	リハール実施。改善事項などのミーティング実施。			
20	リハール、改善ミーティング4	リハール実施。改善事項などのミーティング実施。			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
<p>(1) 出席率が80%以上である事。 (2) 最終提出期限が守られている事。 (3) 課題内容の条件を満たしている事。 (4) 総合評価60点以上であること ①企画書40% ②コーディネート30%で評価 ③VMD20%+授業態度10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>		<p>提出物 (1) プレゼンテーション企画書 (2) 作品 コーディネート作品1人1コーディネート 各科目ごとに複数の教務にて評価を行う。</p>			
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				

科目名	商品企画				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.コンセプトの考え方 2.デザインの考え方 3.製品制作				
学習目標 (到達目標)	コンセプトワークを学び、ターゲットに沿った商品企画のノウハウを学ぶ				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	配布資料・ノートパソコン				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	企画・コンセプト		コンセプトとは・デザインとは		
2	ブランド立案		ブランド立案作業		
3	デザイン		ラフデザイン作業		
4	デザインチェック①		デザイン修正作業		
5	デザインチェック①		デザイン修正作業		
6	T-shグラフィックデザイン		プリント種類講義		
7	T-shグラフィックデザイン		プリント種類講義		
8	T-shグラフィックデザイン		プリント職出し		
9	別注企画		別注の仕組みとノウハウ		
10	別注企画		別注が上手く行きやすい商品		
11	別注企画演習①		リーバイス501の別注企画		
12	別注企画演習①		企画発表会		
13	別注企画演習②		コンバースオールスターの別注企画		
14	別注企画演習②		企画発表会		
15	別注企画演習③		自分設定のブランドアイテム別注企画		
16	別注企画演習③		企画発表会		
17	雑貨デザインコンペティション		雑貨デザインコンペ説明・作業		
18	雑貨デザインコンペティション		アイデアだし・コンセプトワーク		
19	雑貨デザインコンペティション		デザインワーク・応募準備		
20	デザインチェック		コンテスト応募		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：ブランド企画書20%/T-shデザイン20%/別注企画①20%/別注企画②20%/雑貨デザイン応募デザイン20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全ての課題を提出すること 好きなデザインをするのではなく、ターゲットに沿ったデザイン企画をすること、商品ができるまでの流れを理解すること		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

科目名	商品企画				
担当教員	神戸 悠太		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	3	時間数	60時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1.企画書の制作 2.プレゼンテーション				
学習目標 (到達目標)	2年間の集大成として学科特性を生かした企画の立案・コーディネートをファッションショーで発表する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	配布資料・ノートパソコン				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	導入		スケジュール・主旨説明		
2	企画書制作		コンセプトワーク		
3	企画書制作		ターゲット分析・マーケティング		
4	企画書制作		トレンドマーケティング		
5	企画書制作		シーウンテーマワーク		
6	企画書制作		スタイリング提案		
7	プレゼンテーション		企画会議		
8	スタイリングワーク		バイイングリスト制作		
9	スタイリングワーク		バイイングリスト制作		
10	バイイング実習		商品バイイング		
11	メイクプラン・演出プランワーク		メイクプランニング・演出プランニング		
12	商品検品・スタイリング組		スタイリングチェック		
13	修正スタイリングワーク		スタイリング修正		
14	追加バイイング実習		商品バイイング②		
15	スタイリング完成		提出		
16	フィッティング		スタイリング修正		
17	最終バイイング		商品バイイング③		
18	ファッションショー		リハーサル		
19	ファッションショー		リハーサル		
20	ファッションショー		本番		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
課題：ブランド企画書50%、プレゼンテーション50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全ての課題を提出すること トレンドマーケティングに基いた企画、及びスタイリングを提案し、予算内で買い付けすること		
実務経験教員の経歴	オリジナルブランドの経営を12年間、ショップ経営を3年間行っていた				

科目名	就職実務 II				
担当教員	松田 大		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	自己PR文章作成 1		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
2	自己PR文章作成 2		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
3	自己PR文章作成 3		エントリーシート・履歴書用自己PRの作成		
4	GD対策 1		GD対策授業面接練習		
5	GD対策 2		GD対策授業面接練習		
6	GD対策 3		GD対策授業面接練習		
7	グループ面接対策 1		グループ面接実践		
8	グループ面接対策 2		グループ面接実践		
9	グループ面接対策 3		グループ面接実践		
10	グループ面接対策 4		グループ面接実践		
11	メールのマナー・添え状・お礼状など		メールでの文章作成の基本。添え状テンプレ作成		
12	企業リストアップ 1		企業研究を深め企業を絞り込む		
13	企業リストアップ 2		企業研究を深め企業を絞り込む		
14	適性検査の基本		適性検査について評価のポイント		
15	SPA対策		SPA試験対策指導		
16	社会人マナー検定対策 1		社会人常識マナー検定対策授業		
17	社会人マナー検定対策 2		社会人常識マナー検定対策授業		
18	社会人マナー検定対策 3		社会人常識マナー検定対策授業		
19	社会人マナー検定対策 4		社会人常識マナー検定対策授業		
20	社会人マナー検定対策 5		社会人常識マナー検定対策授業		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	アパレル業界で5年の実務経験。教員歴20年				

科目名	就職実務 II				
担当教員	松田 大		実務授業の有無	×	
対象学科	ファッションデザイン科、 アパレルニット科、スタイリスト科、 ブライダルコスチュームデザイン科、 ファッションプロデュース科、 ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、 授業の進め方	1、就職の面接練習 2、企業研究の方法を知る 3、エントリーシート対策				
学習目標 (到達目標)	ファッション業界の就職活動において企業研究が出来自己PR面接に活かせるようになる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	社会人常識マナー検定対策6		社会人常識マナー検定対策授業		
2	社会人常識マナー検定対策7		社会人常識マナー検定対策授業		
3	社会人常識マナー検定対策8		社会人常識マナー検定対策授業		
4	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
5	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
6	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
7	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
8	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
9	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
10	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
11	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
12	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
13	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
14	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
15	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
16	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
17	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
18	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
19	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
20	内定者/他課題制作授業 未内定者/個別指導		内定者は他科目の課題制作授業 未内定者個人指導面談		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
社会人常識マナー検定模擬試験での評価 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			特になし		
実務経験教員の経歴	アパレル業界で5年の実務経験。教員歴20年				

科目名		卒業制作							
担当教員		金川 愁		実務授業の有無		○			
対象学科		ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年		2	開講時期		前期	
必修・選択		必修		単位数		1	時間数		20時間
授業概要、目的、 授業の進め方		卒業制作へ移行し、作品制作をメインに実行。 プランニングからディスプレイ企画、アイテム選別まで各個人で実施。 2年間で学んだコーディネート、VMD、店舗運営などの知識を活かし、心に、視覚に訴える課題を制作。 卒業課題となり最終ショー形式にて発表。							
学習目標 (到達目標)		企画書の作成、プレゼン実施、VMD企画、演出のすべてを実践し理解をする。							
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		なし							
回数	授業項目、内容				学習方法・準備学習・備考				
1	卒業制作について 課題趣旨説明				卒業制作の内容、趣旨説明				
2	卒業制作 企画書立案				企画書立案（コーディネートイメージ5体、VMD企画、 演出企画）パワーポイントにてスライド10枚以上。				
3	卒業制作 企画書作成1				企画書作成 コーディネートイメージ5体、VMD企画立て				
4	卒業制作 企画書作成2				企画書作成 演出、音楽の企画立案				
5	卒業制作 企画書中間チェック				企画書の中間チェック実施。				
6	卒業制作 企画書プレゼン				企画書プレゼン（1人ずつ企画の意図、演出なども全て伝える）				
7	卒業制作 企画採用者決定				採用企画の制作へ移る。各担当や演出などすべて採用企画者に仕切らせ制作開始。				
8	卒業制作 採用企画のコーディネート策定1				コーディネート案作成 PCにて画像収集				
9	卒業制作 採用企画のコーディネート策定2				コーディネート案作成 PCにて画像収集				
10	卒業制作 採用企画のコーディネート策定3				コーディネート案完成 モデル案策定				
11	卒業制作 必要なアイテム候補出し				足りないアイテムの候補出し				
12	卒業制作 必要なアイテムなど買い出し				足りないアイテムの候補出し、買い出し実施				
13	卒業制作 コーディネートチェック				コーディネートチェック実施				
14	卒業制作 フィッティング実施				フィッティング実施				
15	卒業制作 演出関連作成				演出関連（音楽、映像など）作成				
16	卒業制作 演出関連リハ				演出関連リハーサル実施。				
17	卒業制作 リハーサル、改善ミーティング1				リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。				
18	卒業制作 リハーサル、改善ミーティング2				リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。				
19	卒業制作 リハーサル、改善ミーティング3				リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。				
20	卒業制作 リハーサル、改善ミーティング4				リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。				
評価方法・成績評価基準					履修上の注意				
(1) 出席率が80%以上である事。 (2) 最終提出期限が守られている事。 (3) 課題内容の条件を満たしている事。 (4) 総合評価60点以上であること ①企画書40% ②コーディネート30%で評価 ③VMD20%+授業態度10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					提出物 (1) プレゼンテーション企画書 (2) 作品 コーディネート作品1人1コーディネート 各科目ごとに複数の教務にて評価を行う。				
実務経験教員の経歴		セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた							

科目名	卒業制作				
担当教員	金川 愁		実務授業の有無	○	
対象学科	ファッションビジネス科、 国際ファッションビジネス科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	20時間
授業概要、目的、 授業の進め方	卒業制作へ移行し、作品制作をメインに実行。 プランニングからディスプレイ企画、アイテム選別まで各個人で実施。 2年間で学んだコーディネート、VMD、店舗運営などの知識を活かし、心に、視覚に訴える課題を制作。 卒業課題となり最終ショー形式にて発表。				
学習目標 (到達目標)	企画書の作成、プレゼン実施、VMD企画、演出のすべてを実践し理解をする。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	卒業制作について 課題趣旨説明		卒業制作の内容、趣旨説明		
2	卒業制作 企画書立案		企画書立案（コーディネートイメージ5体、VMD企画、 演出企画）パワーポイントにてスライド10枚以上。		
3	卒業制作 企画書作成1		企画書作成 コーディネートイメージ5体、VMD企画立て		
4	卒業制作 企画書作成2		企画書作成 演出、音楽の企画立案		
5	卒業制作 企画書中間チェック		企画書の中間チェック実施。		
6	卒業制作 企画書プレゼン		企画書プレゼン（1人ずつ企画の意図、演出なども全て伝える）		
7	卒業制作 企画採用者決定		採用企画の制作へ移る。各担当や演出などすべて採用企画者に仕切らせ制作開始。		
8	卒業制作 採用企画のコーディネート策定1		コーディネート案作成 PCにて画像収集		
9	卒業制作 採用企画のコーディネート策定2		コーディネート案作成 PCにて画像収集		
10	卒業制作 採用企画のコーディネート策定3		コーディネート案完成 モデル案策定		
11	卒業制作 必要なアイテム候補出し		足りないアイテムの候補出し		
12	卒業制作 必要なアイテムなど買い出し		足りないアイテムの候補出し、買い出し実施		
13	卒業制作 コーディネートチェック		コーディネートチェック実施		
14	卒業制作 フィッティング実施		フィッティング実施		
15	卒業制作 演出関連作成		演出関連（音楽、映像など）作成		
16	卒業制作 演出関連リハ		演出関連リハーサル実施。		
17	卒業制作 リハーサル、改善ミーティング1		リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。		
18	卒業制作 リハーサル、改善ミーティング2		リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。		
19	卒業制作 リハーサル、改善ミーティング3		リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。		
20	卒業制作 リハーサル、改善ミーティング4		リハーサル実施。改善事項などのミーティング実施。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
(1) 出席率が80%以上である事。 (2) 最終提出期限が守られている事。 (3) 課題内容の条件を満たしている事。 (4) 総合評価60点以上であること ①企画書40% ②コーディネート30%で評価 ③VMD20%+授業態度10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			提出物 (1) プレゼンテーション企画書 (2) 作品 コーディネート作品1人1コーディネート 各科目ごとに複数の教務にて評価を行う。		
実務経験教員の経歴	セレクトショップにてFAを7年間、販売、VMD業務に関わっていた				